

2014年度 第7回関私教協幹事校会議事録

1. 日時 平成26年10月28日（火）18:30～20:30

2. 場所 東京成徳短期大学十条台キャンパス1号館2階 中会議室

3. 出席者

【幹事】鈴木 将史（事務局長・創価大学）、鈴木 聡志（事務局次長・東京農業大学）、
福山 多江子（事務局次長・東京成徳短期大学）、
神永 典郎（白百合女子大学）、栗栖 淳（国土館大学）
三尾 忠男（早稲田大学）、大島 真夫（東京理科大学）、戸塚 唯氏（千葉科学大学）、
広野 彰（北里大学）、栗田 るみ子（城西大学）、野田 税子（東京経済大学）

【事務担当】平野 光彦（創価大学）

4. 協議

〔報告事項〕

（1）研究部の活動について

各研究部の世話人より、活動状況について報告がなされた。

第1部会：11月15日に城西大学にて部会を開催予定。昨年度実施したアンケート結果の分析を行う。

第2部会：11月10日に帝京平成大学中野キャンパスにて部会を開催予定。

第3部会：10月15日に教職実践演習をめぐって第2回の部会を開催した。11月に第3回を行う予定。

第4部会：9月20日に第3回部会を行い、チャイルド社から『認定こども園教育・保育要領』が出版されたことを受けて、幼保連携政策について話し合った。次回第4回は11月15日に開催予定。

第5部会：9月25日に第2回部会を行い、時事通信出版局の中川氏を招き、今年度の採用試験動向について話を伺った。11～12月に第3回を行う予定。

第6部会：介護等体験に関するアンケートの調査票案をメールのやりとりにて作成した。

第7部会：次回は11月26日に開催予定。

（2）会報の発行について

栗栖広報部長より、今年度発行予定の「会報」第76号の進捗状況について、別紙資料に基づき報告がなされた。5月に開催された研究大会のテープ起こし原稿に一部不明瞭な箇所があるため、栗栖広報部長から発言者等に直接確認をするとともに、各幹事で内容チェックを行うことになった。

（3）会員校名簿の発行について

鈴木事務局長より、今年度発行予定の会員校名簿の進捗状況につき、報告がなされた。

(4) 全私教協 2014 年度定期総会・第 34 回研究大会収支報告書について

鈴木事務局長より、本年 5 月に行われた「全私教協 2014 年度定期総会・第 34 回研究大会」の収支報告につき、別紙に基づき説明があり、異議なく承認された。

〔審議事項〕

(1) 全私教協理事会での報告内容について

鈴木事務局長より、11 月 1 日開催予定の全私教協理事会で、関私教協として報告する活動報告の原稿につき説明があり、審議の結果、一部字句を修正の上原案通り承認された。

(2) 研究部第 6 部会によるアンケート調査について

戸塚第 6 研究部会世話人より、第 6 部会で実施予定の「学生から見た介護等体験でのハラスメント」に関するアンケート案について資料に基づき説明があり、質問の内容や形式に関する種々の意見を取り入れて修正を加えた上で実施することが承認された。

(3) 2014 年度第 2 回研究懇話会について

神永研究部長より、12 月 13 日(土)に創価大学にて開催予定の第 2 回研究懇話会の詳細につき報告があり、審議の結果、以下の内容で各加盟校に案内を送付する方針が決定された。

<日程>

13 : 30～13 : 45 会長挨拶、研究部長挨拶

13 : 45～14 : 45 講演（文部科学行政の立場から）

15 : 00～16 : 00 第 2 部会からの報告（アンケート結果を含む）

三尾真琴先生（帝京科学大学）他 2 人（一人 20 分）

16 : 00～16 : 30 グループ協議及び各校の情報交換

16 : 30～16 : 45 閉会行事

各グループ発表、閉会挨拶（事務局長）

17 : 00～19 : 00 情報交換会

<テーマ>「教職センター」の設置と運営を巡って

趣 旨： 教職センターは、課程認定後の教職課程実地視察の指摘事項において、「全学的な教職課程の運営にあたるセンターの設置を行うこと」等の指摘が共通になされてきており、各大学において対応しているところです。各大学においては、それらの指摘を受けて、名称は異なるものの「教職センター」的な機能を持ち、大学の教職課程全体に関わる部署を設置し運営に当たってきているところです。

そこで、「全学的に対応する機能を持たせた教職センター」について、各大学がどのように捉えて取り組んでいるのか、その現状と課題を明らかにしたいと考えました。また、これから教職センターの設置を進めようとしている大学においても参考となるよう、このテーマを考えました。

まず、①文部科学省の方から、「教職センター」に求められている機能や役割についてお話を伺う。②第 2 部会が実施したアンケート結果を踏まえ、近年全学的な教職セ

ンターを立ち上げた大学から、その組織や運営の実態と課題等についてご報告いただく。③フロア（参会者）で、これからの教職課程の運営と「教職センターの役割」についてグループ協議を行い、各校の情報交換をしていただく、などの内容で進めていければと考えました。

※参加申込みの締め切りは 11 月 21 日

（４）２月以降の幹事校会会場について

2015 年 2 月以降の幹事校会の日程ならびに会場につき検討された。基本的には今年度第 2 回以降で開催された会場の順番で開催する方針が決定された。

（５）その他

- ・鈴木事務局長より、任期を終えて交代する幹事校の数が不均等である現状の是正について提案がなされた。今後、各大学、グループ等で検討して頂き、引き続き調整することになった。
- ・鈴木事務局長より、来年 5 月 9 日開催予定の「2015 年度定期総会、関私教協・東教協合同研究大会」の会場が創価大学になることが報告された。

・次回 第 8 回関私教協幹事校会開催予定

11 月 24 日（月）19：00～

会場：早稲田大学早稲田キャンパス